



【教育目標】自らの可能性を信じ、努力することのできる生徒を育成する。
【一学校一改善】先手あいさつ

笑顔あふれる学校に

本日、2学期終業式を行いました。これまでも学校だよりなど各種通信等でお知らせしましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、日々の授業や体育大会などの学校行事等を行い、学校生活の充実とそれに伴う生徒の成長を願い、教育活動を推進して参りました。まだまだ課題も残されていますが、一人ひとりいろいろな面で成長していることを実感でき、大変うれしく思っています。今後もご家庭と連携を図りながら、教育活動の充実に努めて参ります。

さて、今年度も昨年度に引き続き「先手あいさつ(心に届くあいさつ)」を大きな目標に取り組んでいます。PTA活動の取組の一つとして「親子あいさつ運動」に取り組んでいただき、大変ありがたく思っています。参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございます。参加されてどのような感想をお持ちになったのでしょうか。また、ご家庭ではそのことを受けてどのようなお話をされたことでしょうか。

朝、校門に立っていますと、あいさつを通して生徒から元気ももらっています。私も今日が良い一日となるようにとの思いを込めながらあいさつを返したり、あいさつを先にしたりしています。今以上に積極的にあいさつができるよう、先手あいさつ(心に届くあいさつ)をさらに浸透させていきたいと考えています。

また、12月15日の全校朝会では「笑いの効果」について話をしました。諸説あるようですが、笑いはいろいろな病気の改善に役立つことに加えて、頭がさえる、幸せになるなどの効果があることを紹介しました。それと同時に、自分も含めて周りの人も幸せになる笑いを広げていこうという話もしました。楽しいことや面白いことがあって笑うだけでなく、笑うことで楽しくなったり幸せな気持ちになったり悩みを軽減したり前に進んだりできることも多いようです。

相手への思いをまずはあいさつに込めて、また自分や周りの人が楽しい幸せな気持ちになれるよう、笑いも上手に活用して、笑顔あふれる学校となるように取り組んで参ります。

夢実現にむけて 充実した冬休みを

あと一週間で新しい年、令和4年となります。3年生だけでなくそれぞれが自分の夢実現にむけて、充実した冬休みを送ってくれることを期待しています。毎学期、終業式では次の3点を繰り返し話をしていきますので紹介いたします。

- 1 命を大切にすること
- 2 「早寝・早起き・朝ご飯」を本気で実践すること
- 3 体と心と頭を鍛えること

詳細は1学期末に発行しました学校だより第4号に掲載しています。この3点に加えて、本日の2学期終業式では年末・年始を迎え自分が家族からしてもらっていることに感謝し、また自分が家族に対して貢献できることを考え実践しようと呼びかけました。中学生では普段はお手伝いのレベルかもしれませんが、冬休みの期間だけでも家族の一員として役割を受け持ち、それを責任を持って実践することも大切と考えます。家族で話題にしていだけるありがたいです。